

津波避難対策緊急事業計画

(平成27～31年度)

東 洋 町

津波避難対策緊急事業計画

【総括編】

1. 推進計画（地域防災計画）において定めている津波避難対策緊急事業計画の基本となるべき事項

東洋町地域防災計画（平成28年12月21日改訂）において定めている津波避難対策緊急事業計画の基本となるべき事項は以下のとおりとする。

第4章 実施すべき事業

津波避難の対象地域ごとに実施すべき事業の種類・目標・達成期間は、以下の通りである。

津波避難の対象地域ごとに実施すべき事業の種類・目標・達成期間

津波避難対策緊急事業を行う区域	津波から避難するために必要な緊急に実施すべき事業の種類	目標	達成期間
甲浦地区	避難施設の整備事業	3箇所	平成31年度
	避難経路の整備事業	16路線	平成31年度
生見地区	避難経路の整備事業	3路線	平成31年度
野根地区	避難施設の整備事業	1箇所	平成31年度
	避難経路の整備事業	11路線	平成31年度

2. 事業の必要性

（1）個別地区ごとの事業の必要性

高知県が発表した「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測」（以下「高知県想定」という。）をもとに、津波避難対象区域の津波避難空間の整備を推進していくこととする。

また、津波避難空間の整備を進めていくうえで、津波避難路については幅員を1.5m確保することを基本とし、用地の制約などがある場合は、可能な限り広い幅員を確保すること、津波避難タワーについては、平成24年9月に高知県が作成した「津波避難タワー設計のための手引き」を基本に整備を図る。

【甲浦（かんのうら）地区】

①事業の必要性

甲浦地区では、最大震度6強、居住区域へは30cmの津波が早いところで8分後、最大浸水深は5m～15mの予測で、地区全域を津波浸水予想区域として指定しており、避難対象者数は787世帯、1,538名となっている。

基本的には近くの山などの高台へ避難する津波避難路整備や人が通行できる程度の橋梁整備を計画し、周辺に高台がない地域においては津波避難タワーの整備を計画していくとともに、高台の指定避難場所が少ないことから津波避難広場の整備も計画している。また、津波避難場所までの誘導案内として津波避難誘導灯、津波避難誘導標識、海拔表示標識の整備を計画している。

②施設の配置等の考え方

津波来襲時間が非常に早いとため、集落単位での津波避難対策を進めており、この地区の津波避難困難区域の解消にあたっては、対象住民282世帯784人が津波避難施設に迅速に避難できるように津波避難路16箇所の整備をはじめ、周囲に高台のない白浜集落のうち77世帯172名の集落においては津波避難タワー2基が整備されているものの、高知県想定において高さが足りない、あるいは余裕高が確保されていないため、1人あたりの避難スペース1㎡として、既存施設に隣接した位置へ新たに2基の整備を計画している。また、避難者の多いと予想される集落へは津波避難広場1箇所の整備を計画している。

③津波避難困難区域の設定

甲浦地区では、高知県想定によると30cmの津波が早いところで8分後に来襲することから、避難準備時間を5分、歩行速度を0.7m/秒として避難可能距離は126mとなる。

津波の一時避難場所となる高台や施設から126m以上離れた地域を津波避難困難区域として設定している。

④整備内容

津波避難路整備：16箇所

津波避難タワー整備：2基（70㎡・110㎡）

津波避難広場：1箇所（A=1,000㎡）

【生見（いくみ）地区】

①事業の必要性

生見地区では、最大震度6強、居住区域へは30cmの津波が早いところで11分後、最大浸水深は5m～15mの予測で、地区全域を津波浸水予想区域として指定しており、避難対象者数は72世帯、152名となっている。

当該地区には役場をはじめ、地域福祉センター、消防所、総合体育館、総合グラウンドなどの公共施設が集中することから、その利用客の津波避難対策を講じる必要がある。

基本的には近くの山などの高台へ避難する津波避難路整備を計画しているが、津波避難困難区域で近くに高台がない場合は、公共施設の屋上へ避難できるように外付け階段の整備を計画している。また、津波避難場所までの誘導案内として津波避難誘導灯、津波避難誘導標識、海拔表示標識の整備を計画している。

②施設の配置等の考え方

この地区の津波避難困難区域の解消にあたっては、対象住民48世帯105人が津波避難施設に迅速に避難できるよう津波避難路3箇所の整備を計画している。

③津波避難困難区域の設定

生見地区では、高知県想定によると30cmの津波が早いところで11分後に来襲することとなることから、避難準備時間を5分、歩行速度を0.7m/秒として避難可能距離は252mとなる。

津波の一時避難場所となる高台や施設から252m以上離れた地域を津波避難困難区域として設定している。

④整備内容

津波避難路整備：3箇所

【野根（のね）地区】

①事業の必要性

野根地区では、最大震度6強、居住区域へは30cmの津波が早いところで21分後、最大浸水深は1m～5mの予測で、一部山間部を除く地域を津波浸水予想区域として指定しており、避難対象者数は657世帯、1,088名となっている。

基本的には近くの山などの高台へ避難する津波避難路整備を計画していくが、周辺に高台がない地域においては津波避難タワーや公共施設の屋上へ避難できるように外付け階段の整備を計画している。また、津波避難場所までの誘導案内として津波避難誘導灯、津波避難誘導標識、海拔表示標識の整備を計画している。

②施設の配置等の考え方

この地区の津波避難困難区域の解消にあたっては、対象住民298世帯534人が津波避難施設に迅速に避難できるよう津波避難路11箇所の整備をはじめ、周囲に高台のない東町集落のうち53世帯91名においては1人あたりの避難スペース1㎡とした津波避難タワー1基の整備を計画している。

③津波避難困難区域の設定

野根地区では、高知県想定によると30cmの津波が早いところで21分後に来襲する予測で、避難準備時間を5分、歩行速度を0.7m/秒として避難可能距離は672mとなる。

津波到達時間等から算出される避難可能距離は672mであるが、消防庁の津波避難対策推進マニュアルに基づき、津波の一時避難場所となる高台や施設から500m以上離れた地域を津波避難困難区域として設定している。

④整備内容

津波避難路整備：11箇所

津波避難タワー整備：1基（A=100㎡）

3. 津波避難対策の実施に関する目標及び達成期間(計画作成年度から概ね5年程度)

地区名	事業種類	目標	達成期間
甲浦地区	1号 避難施設その他の避難場所	3箇所	平成 27 ~ 31 年度
甲浦地区	2号 避難経路	16箇所	平成 27 ~ 31 年度
生見地区	2号 避難経路	3箇所	平成 27 ~ 31 年度
野根地区	1号 避難施設その他の避難場所	1箇所	平成 27 ~ 31 年度
野根地区	2号 避難経路	11箇所	平成 27 ~ 31 年度

【地区別編】
甲浦地区

事業主体	施設名	事業量	全体事業費 (百万円)	実施 予定年度	所管省庁	嵩上措置等を予定す る交付金事業等	事業 種類	図 No.
東洋町	甲浦地区避難広場	A=1000㎡ 避難人数1,000人	15	H30~H31	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	1	1-1
東洋町	白浜地区第1津波避難タワー（増築）	A=110㎡ 避難人数102人	100	H28~H29	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	1	1-1
東洋町	白浜地区第2津波避難タワー（増築）	A=70㎡ 避難人数70人	100	H28~H29	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	1	1-1
東洋町	甲浦東2区避難路	W=0.75m L=37.0m	3	H29	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	中町地区避難路	W=1.5m L=70.0m	6.5	H28-H29	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西3区避難路①	W=1.5m L=120.0m	13	H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西3区避難路②	W=1.5m L=104.0m	11	H29	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西3区避難路③	W=1.5m L=50.0m	5	H29~H31	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西4-2区避難路①	W=1.5m L=31.0m	4	H27	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西4-2区避難路②	W=3.0m L=200.0m	15	H29~H30	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西4-2区避難路③	W=1.5m L=150.0m	14	H29~H31	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	甲浦西4-2区避難路④	W=1.5m L=50.0m	5	H29~H31	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	小池地区避難路①	W=0.75m L=110.0m	3.5	H27~H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	小池地区避難路②	W=0.75m L=120.0m	1.5	H27~H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	小池地区避難路③	W=1.5m L=125.0m	8	H27	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	原地区避難路	W=1.5m L=150.0m	4.5	H27~H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	白浜地区避難路①	W=3.0m L=20.0m	30	H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	河内地区避難路①	W=0.75m L=58.0m	4	H27	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
東洋町	河内地区避難路②	W=0.75m L=60.0m	4	H28~H29	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	1-1
合計	1号 避難施設その他の避難場所		215				1	
	2号 避難経路		132				2	
	3号 集団移転促進事業		0				3	
	4号 3号に関連し移転が必要な施設		0				4	

位置図 (甲浦地区)

201203室戸市・東洋町 [東洋町 11図 J-1 東洋町 12図 J-1]

利用者: 東洋町総務課



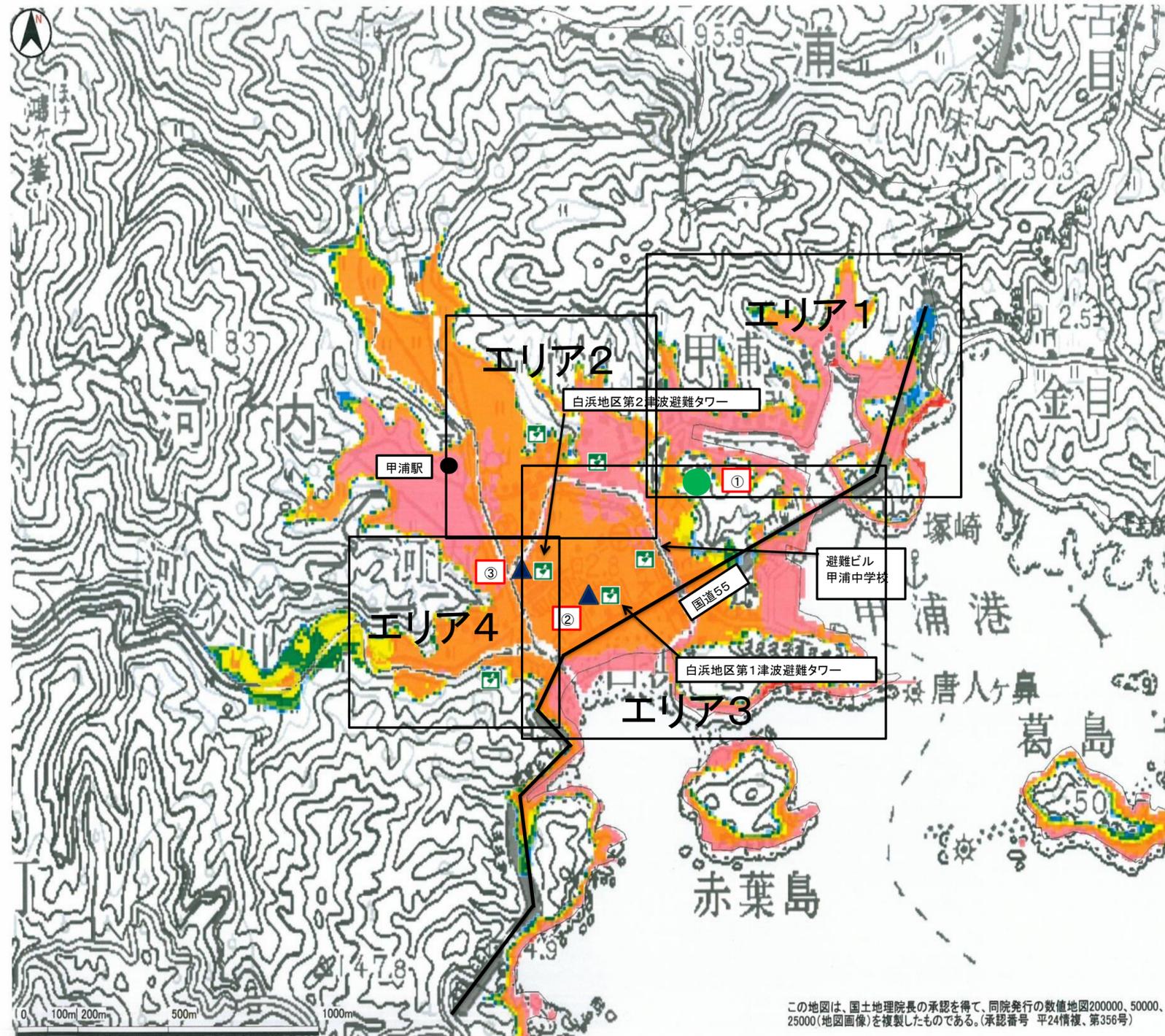
津波避難路	16箇所	
津波避難経路(既存)	2箇所	
津波避難広場	1箇所	
津波避難タワー	2基	
津波避難困難区域	18箇所	
白浜地区避難路① 避難対象地域	1箇所	
津波避難場所		

※枠線のない集落は避難路整備済

東洋町大字河内付近

© 2012 ZENRIN CO.,LTD.
縮尺 1 / 4,000 120m

位置図 (甲浦地区)



凡 例

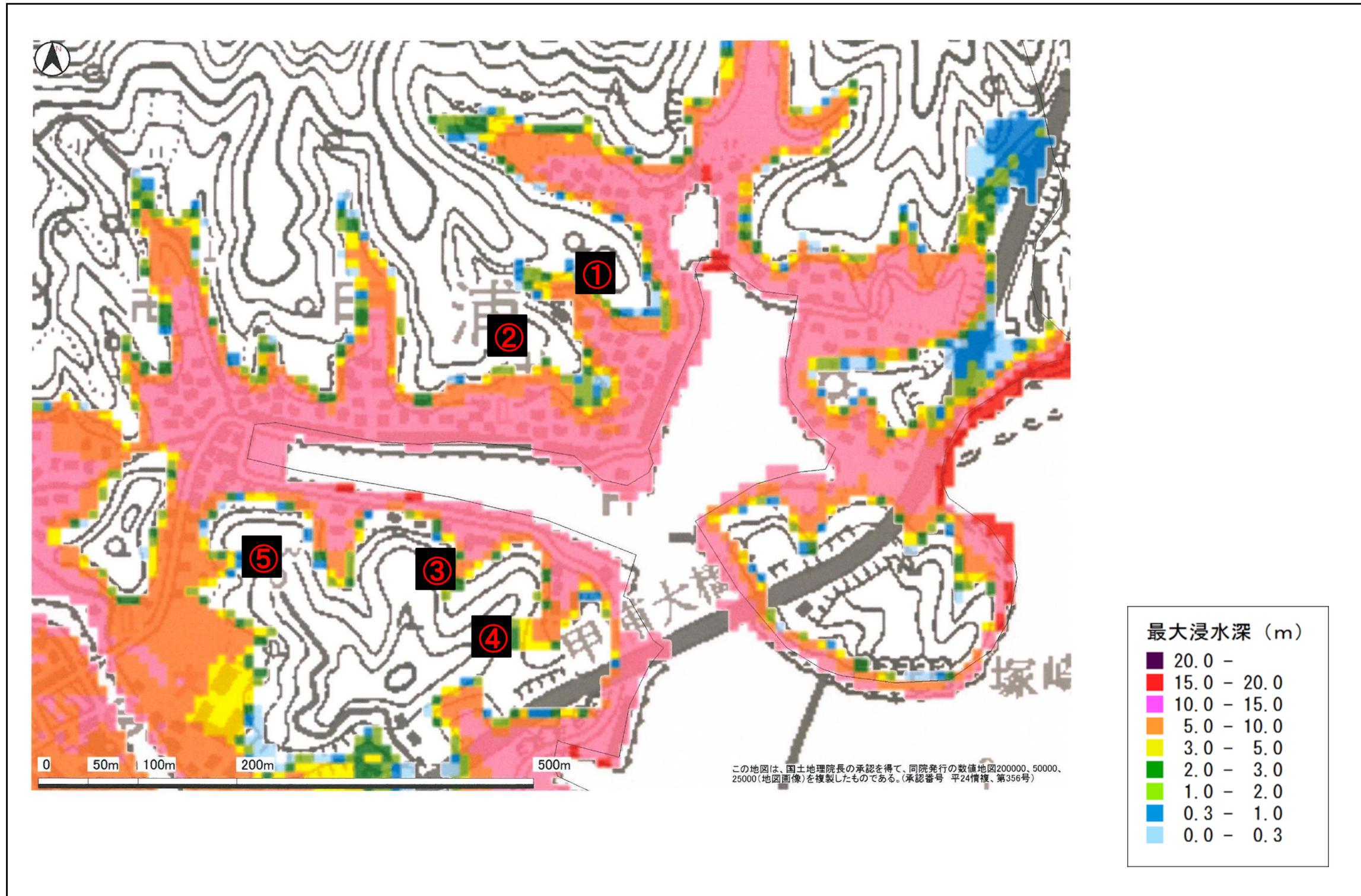
▲	津波避難タワー(都市防災)
●	津波避難広場
☒	津波避難場所

最大浸水深 (m)

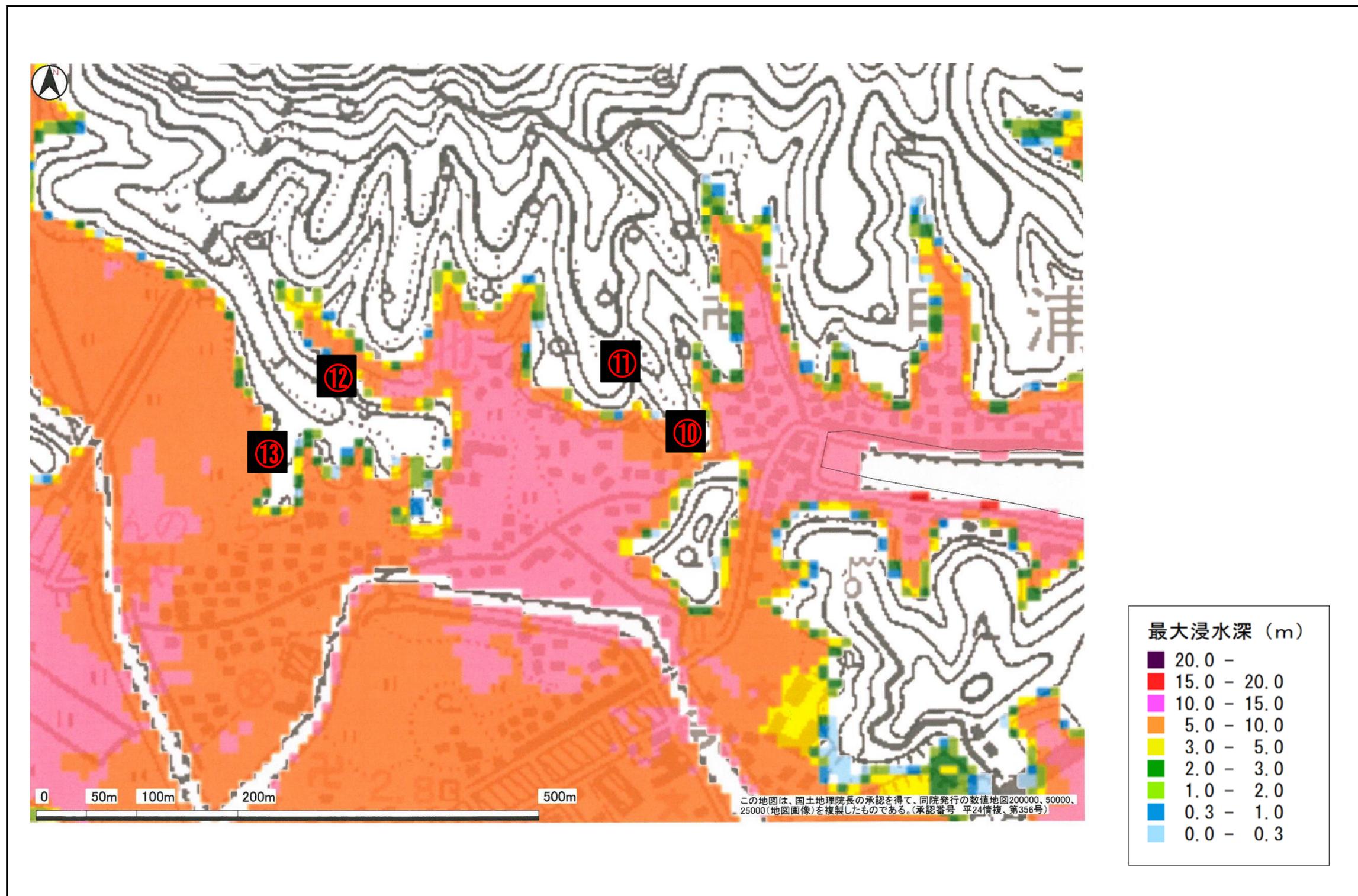
■	20.0 -
■	15.0 - 20.0
■	10.0 - 15.0
■	5.0 - 10.0
■	3.0 - 5.0
■	2.0 - 3.0
■	1.0 - 2.0
■	0.3 - 1.0
■	0.0 - 0.3

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000、50000、25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平24情複、第356号)

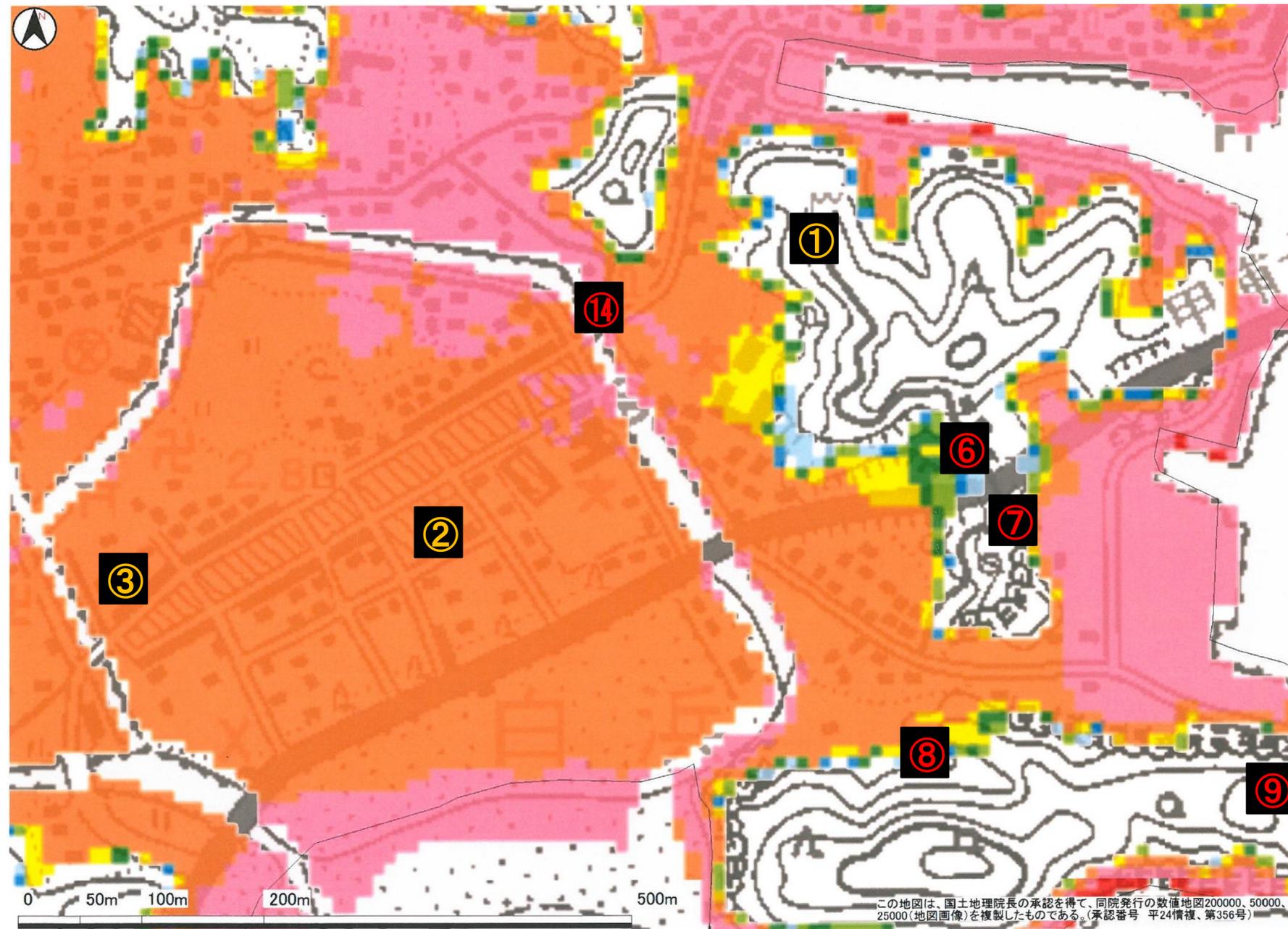
位置図（甲浦地区：エリア1）避難経路①・②・③・④・⑤



位置図（甲浦地区：エリア2）避難経路⑩・⑪・⑫・⑬



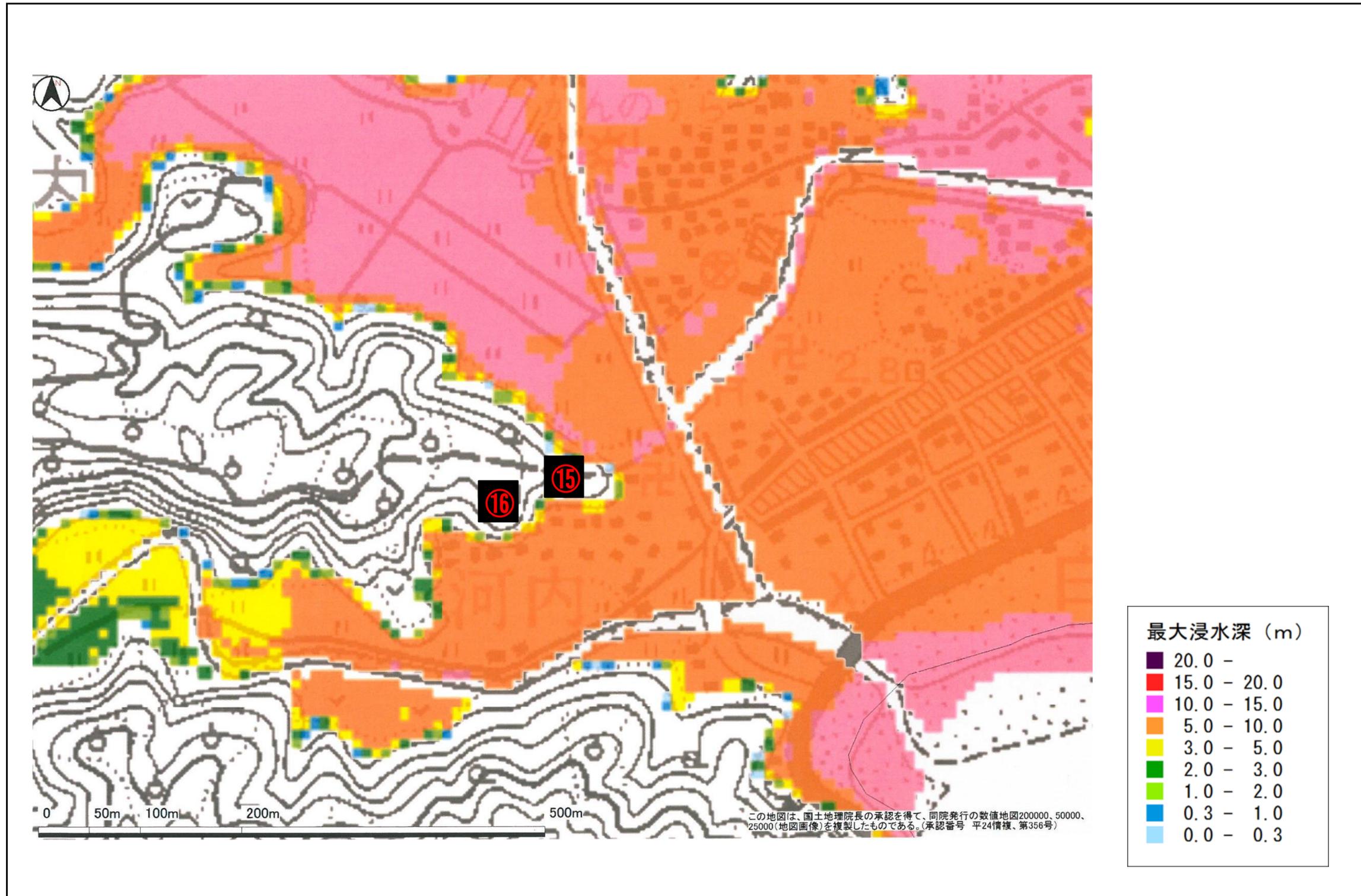
位置図（甲浦地区：エリア3）避難施設その他の避難場所①・②・③
 避難経路⑥・⑦・⑧・⑨・⑭



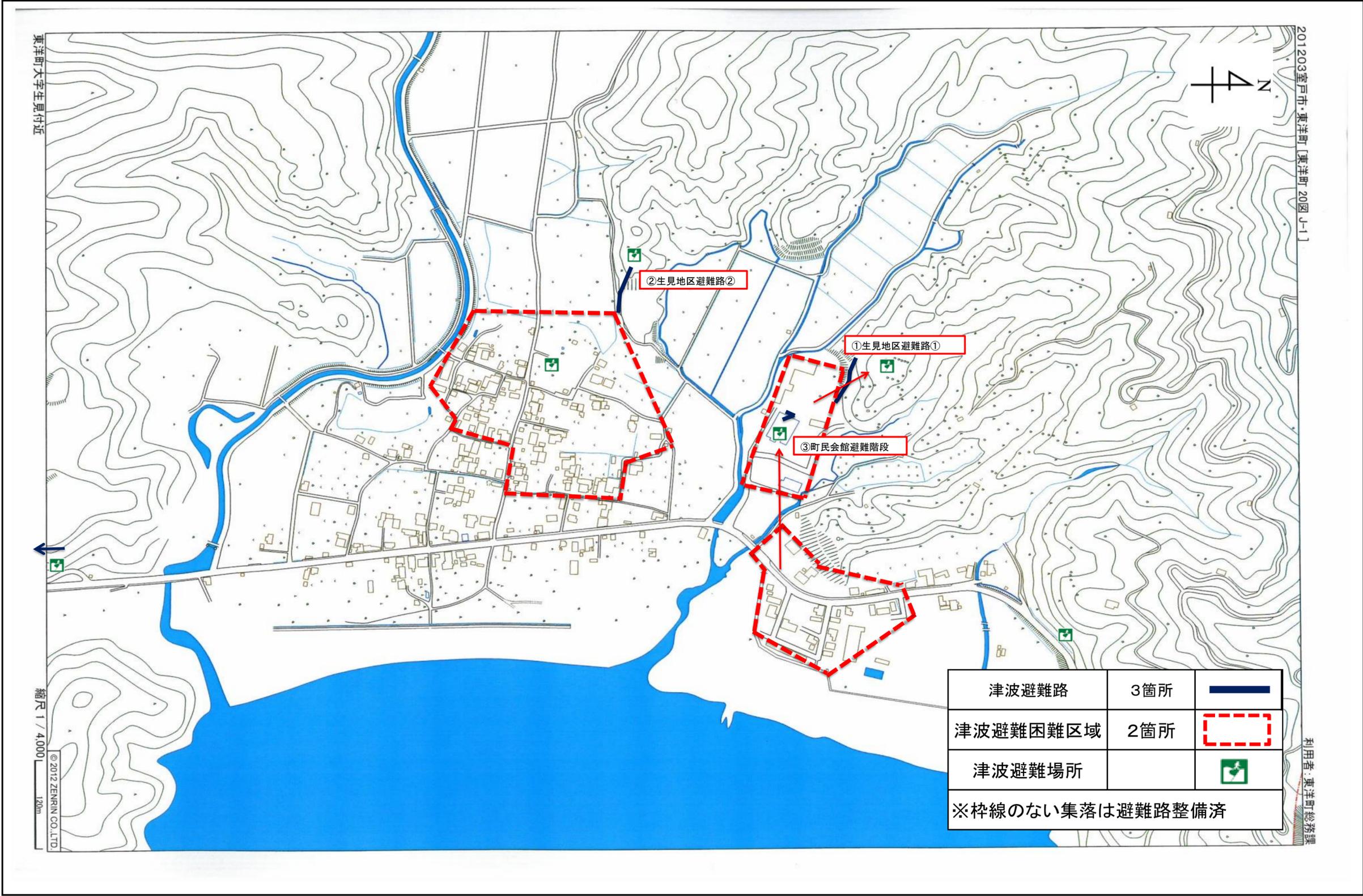
最大浸水深 (m)

20.0 -
15.0 - 20.0
10.0 - 15.0
5.0 - 10.0
3.0 - 5.0
2.0 - 3.0
1.0 - 2.0
0.3 - 1.0
0.0 - 0.3

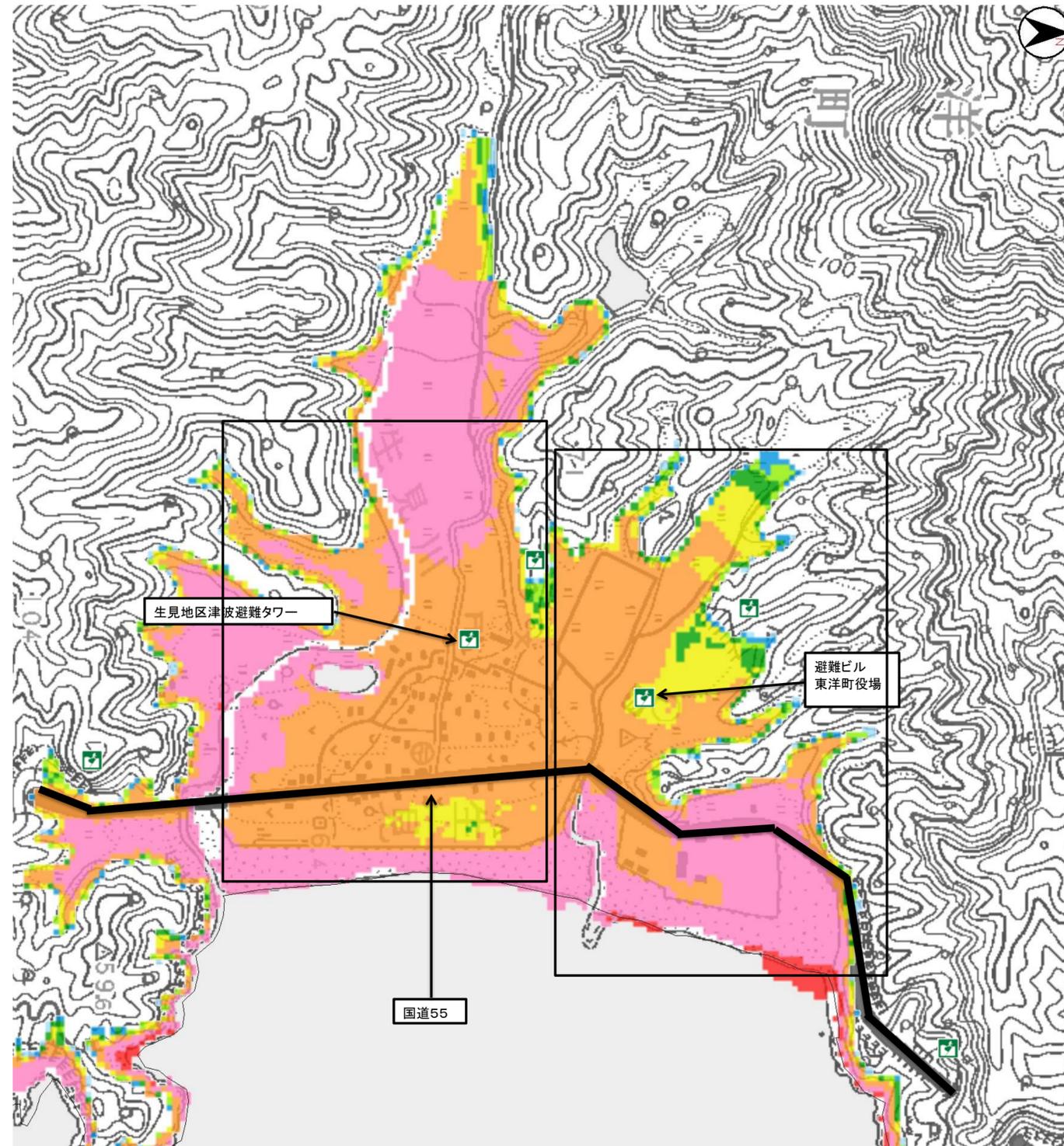
位置図（甲浦地区：エリア4）避難経路⑮・⑯



位置図 (生見地区)



位置図 (生見地区)



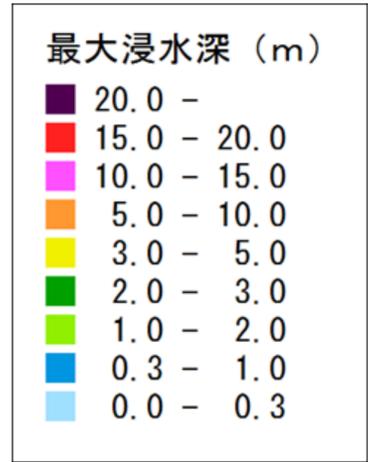
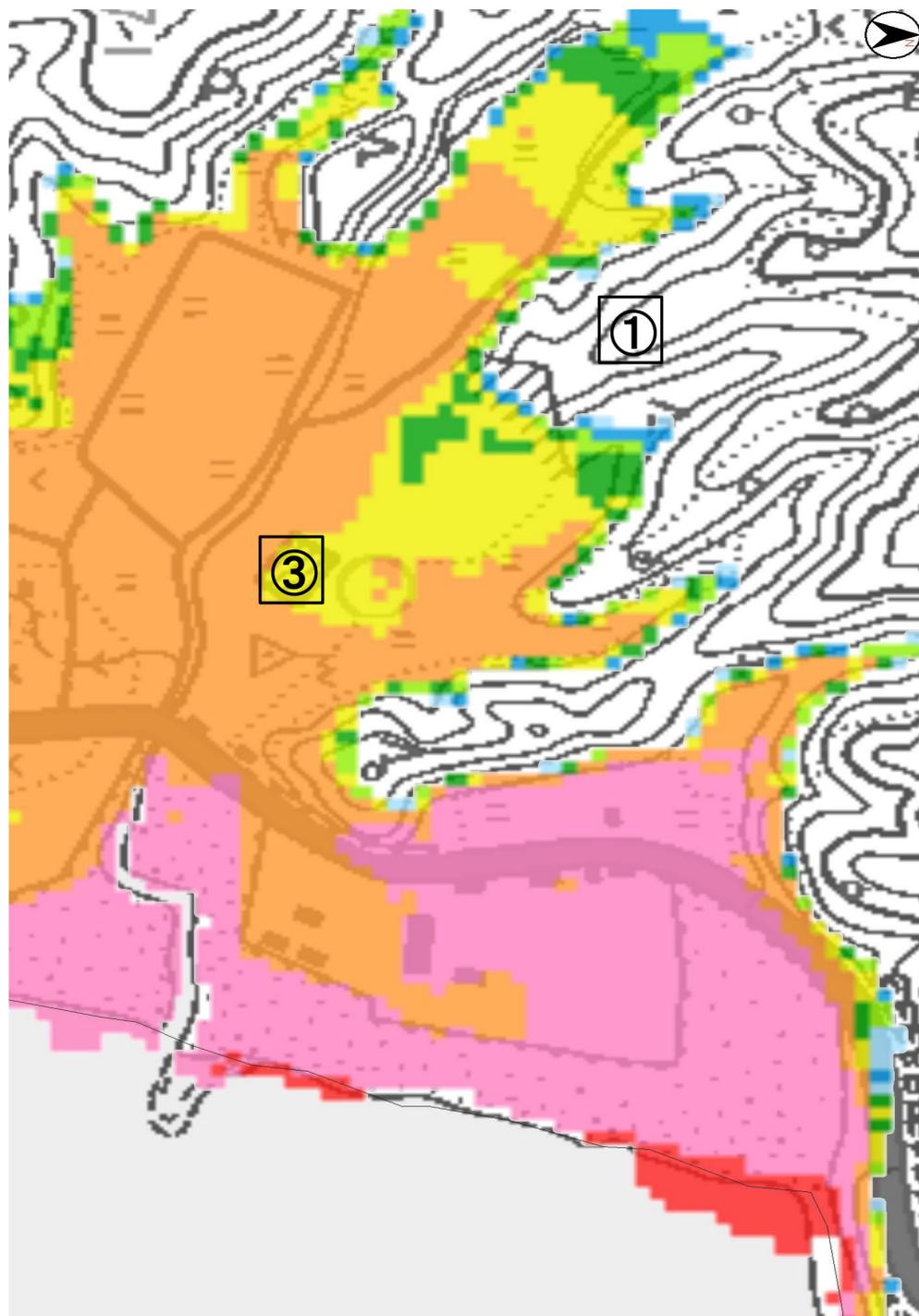
凡 例

	津波避難場所
---	--------

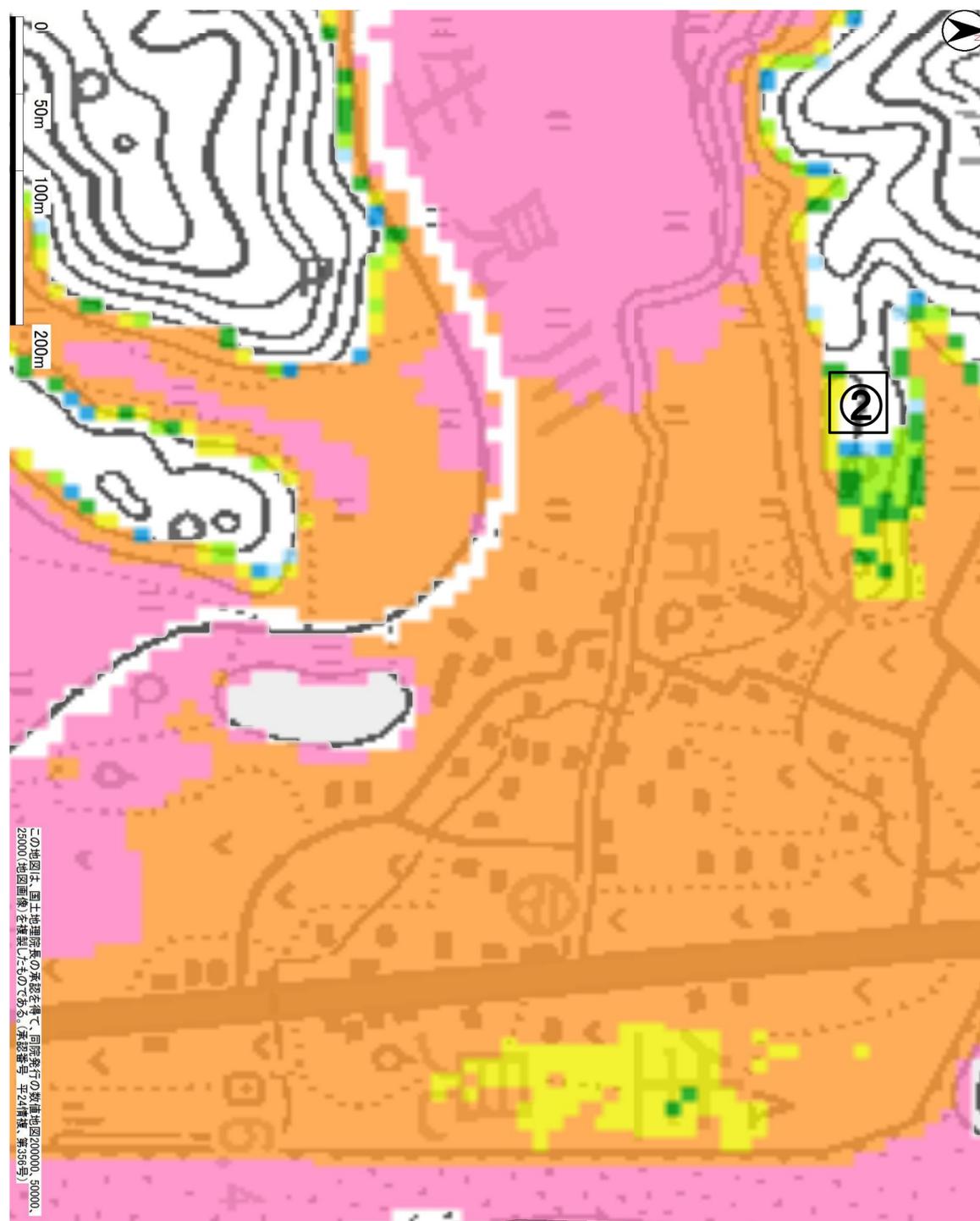
最大浸水深 (m)

	20.0 -
	15.0 - 20.0
	10.0 - 15.0
	5.0 - 10.0
	3.0 - 5.0
	2.0 - 3.0
	1.0 - 2.0
	0.3 - 1.0
	0.0 - 0.3

位置図 (生見地区：エリア1) ①・③



位置図 (生見地区：エリア2) ②



最大浸水深 (m)	
■	20.0 -
■	15.0 - 20.0
■	10.0 - 15.0
■	5.0 - 10.0
■	3.0 - 5.0
■	2.0 - 3.0
■	1.0 - 2.0
■	0.3 - 1.0
■	0.0 - 0.3

【地区別編】

野根地区

事業主体	施設名	事業量	全体事業費 (百万円)	実施 予定年度	所管省庁	嵩上措置等を予定する 交付金事業等	事業 種類	図 No.
東洋町	野根地区第2津波避難タワー	A=100㎡ 避難人数91人	70	H27~H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	1	3-3
東洋町	池地区避難路①	W=0.75m L=20.0m	1.5	H29~H30	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-2
東洋町	池地区避難路②	W=1.5m L=12.0m	3	H27	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	池地区避難路③	W=1.5m L=3.0m	1.5	H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	池地区避難路④	W=0.75m L=32.0m	8.3	H27	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	中村地区避難路①	W=0.75m L=30.0m	1.1	H29~H30	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	中村地区避難路②	W=1.5m L=5.0m	0.5	H29~H30	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	中村地区避難路③	W=3.0m L=5.0m	2	H29~H30	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	中島地区避難路	W=2.0m L=5.0m	0.8	H30~H31	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-4
東洋町	野根分団屯所避難階段	W=0.9m L=7.15m	8.6	H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	野根地区公民館避難階段	W=1.2m L=8.0m	10.4	H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-3
東洋町	野根小学校避難階段	W=1.2m L=8.0m	10.2	H28	国土交通省	防災・安全交付金 都市防災総合推進事業	2	3-4
合計	1号 避難施設その他の避難場所		70	/	/	/	1	/
	2号 避難経路		47.9				2	
	3号 集団移転促進事業		0				3	
	4号 3号に関連し移転が必要な施設		0				4	

位置図（野根地区：エリア1）

201203室戸市・東洋町 [東洋町 25図 J-4]

利用者：東洋町総務課



東洋町大字野根丙付近

縮尺 1 / 4,000 | 120m

位置図 (野根地区：エリア2)

201203室戸市・東洋町 [東洋町 29図 G-3]

利用者: 東洋町総務課

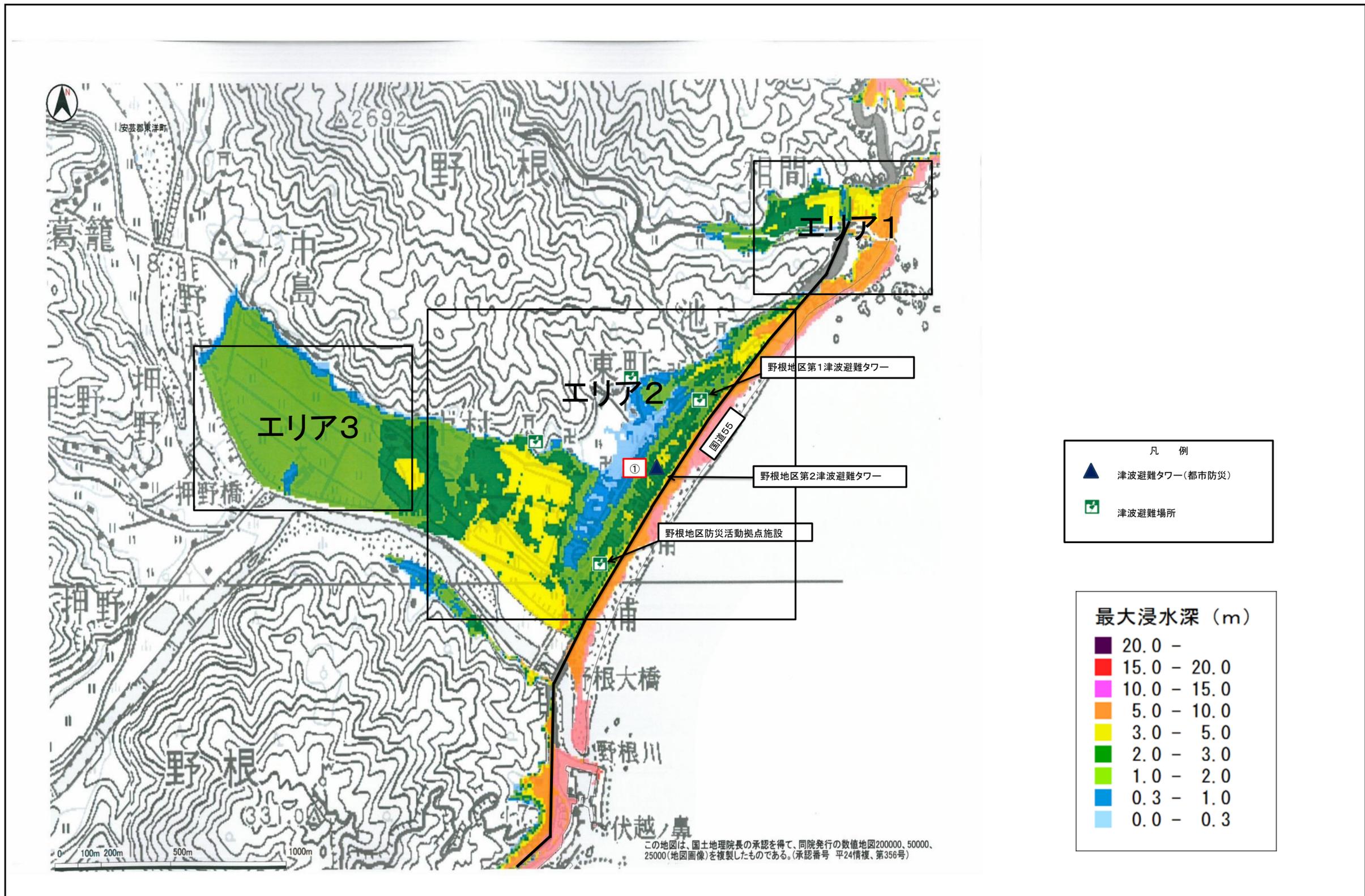


津波避難路	8箇所	
津波避難タワー	1基	
津波避難困難区域	8箇所	
津波避難場所		
※枠線のない集落は避難路整備済		

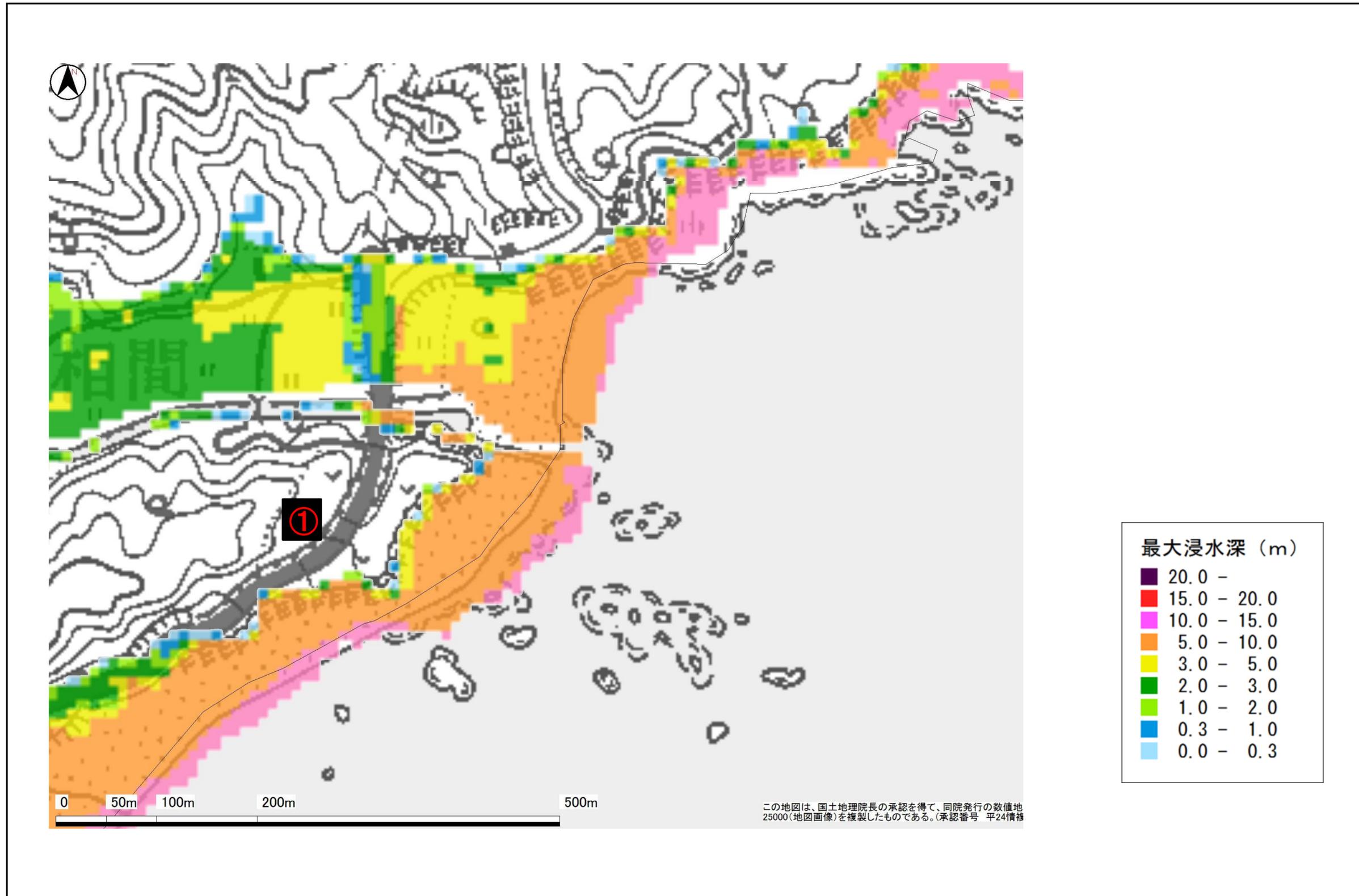
東洋町大字野根丙付近

縮尺 1 / 4,000 120m

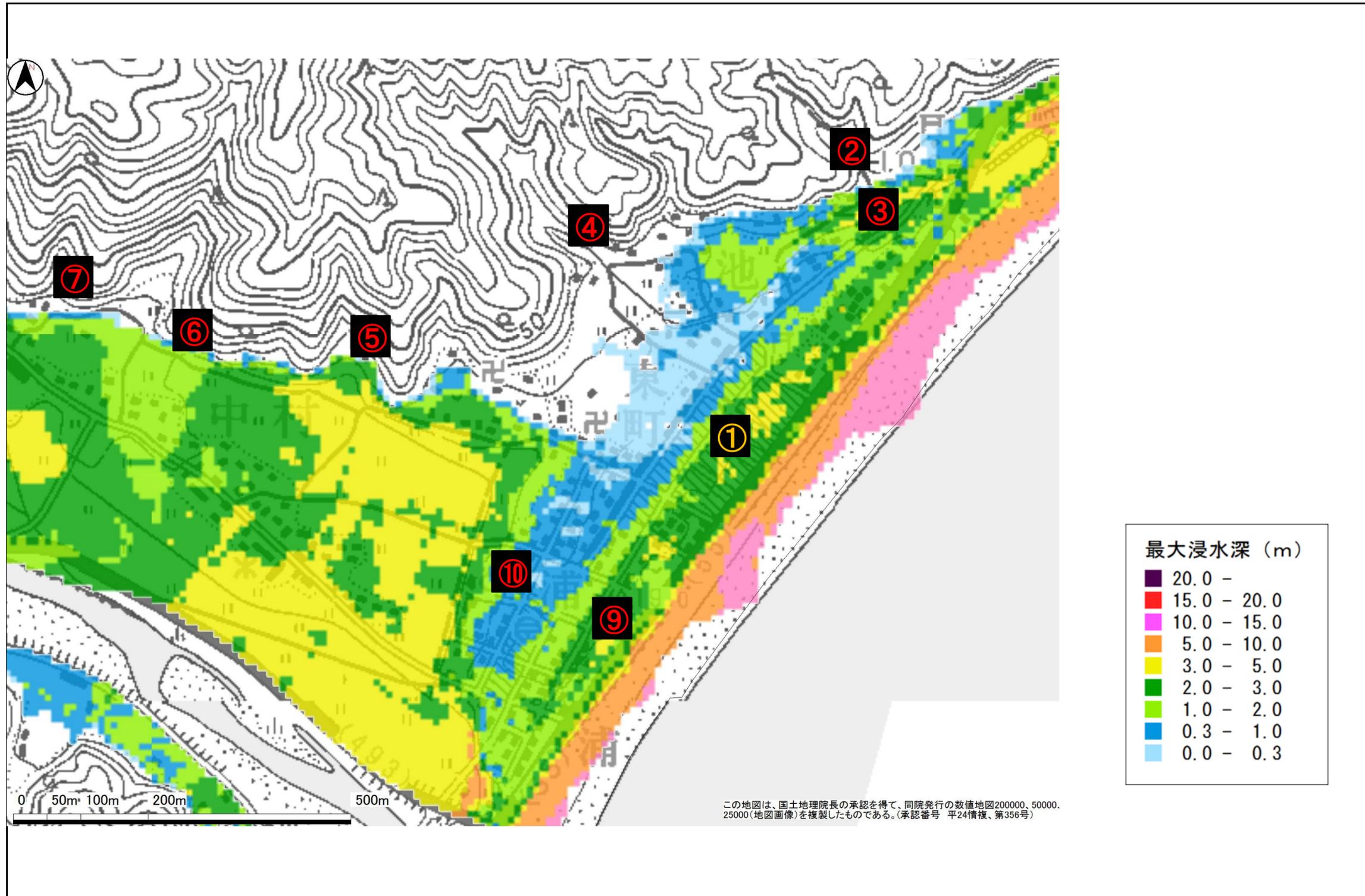
位置図 (野根地区：全域)



位置図（野根地区：エリア1）避難経路①



位置図（野根地区：エリア2）避難施設その他の避難場所①
 避難経路②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑨・⑩



位置図（野根地区：エリア3）避難経路⑧・⑪

